

ワーテックス

警報で衝突お知らせ

自動車後付け装置発売

自動車関連機器製造のワーテックス（太田市東新町、安俊典社長）は2月にも、自動車向けの後付け衝突警報装置を発売する。自動車の衝突回避や自動運転といった安全技術が注目される中、7万9800円（税抜き）という低価格と、すでに使用している車や中古車に搭載できることをアピール。初年度に1万台の販売を目指

す。

自動車のフロントガラスに取り付けるカメラで前方の自動車を検知。前の車にぶつかるまでの時間が0・4秒以下になると警報を鳴らす。その一段階前に警告するタイミングは、衝突までの時間0・5～2・5秒の間で設定できる。モニターも付属し、前方の車とぶつかるまでの時間を表示する。

車線を逸脱しそうになったり、信号待ちなどで前方の車が発車すると警告する機能も付いている。

機器の取り付けに独

自の認証制度を設けて、安全に取り付けられる体制を整える。主にトラックメーカーや

商家などを通じて売り込む。